

1 福岡県の輸出概要

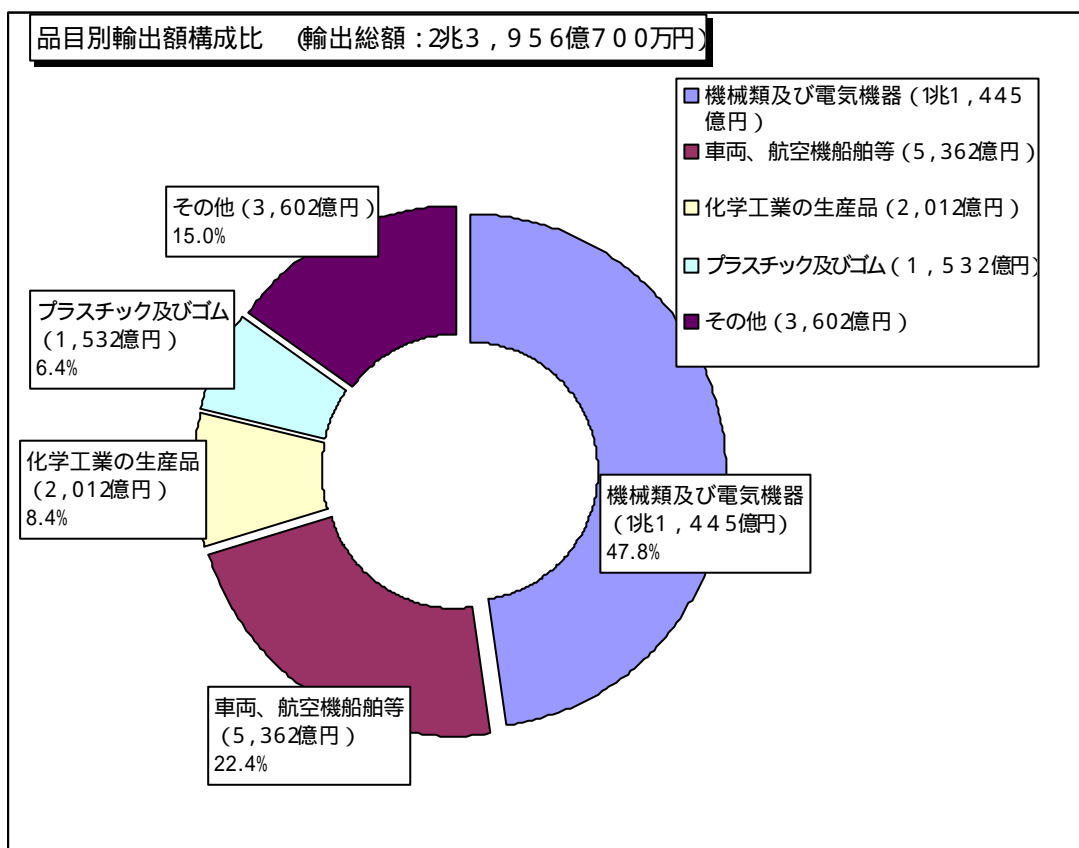
(1) 概況

門司及び長崎税関資料に基づき、平成12年の福岡県内の港（門司、苅田、戸畑、博多、三池）及び福岡空港における輸出状況を見ると次のとおりである。

平成12年の本県の輸出総額は、2兆3,956億07百万円、前年比9.8%増で、3年ぶりのプラスとなった。

(2) 品目別輸出動向

品目別構成で見ると、「機械類及び電気機器」（1億1,445億円）が最も多く輸出全体の47.8%を占めている。次いで、「車両、航空機、船舶等」が22.4%（5,362億円）、「化学工業の生産品」が8.4%（2,012億円）、「プラスチック及びゴム」が6.4%（1,532億円）と続いている。



(3) 港別輸出動向

港別の輸出額は、博多港が4,552億32百万円（前年比7.6%増）、門司港が3,655億84百万円（前年比9.6%増）、福岡空港が8,453億71百万円（前年比21.2%増）、戸畑港が2,394億02百万円（前年比11.4%増）、三池港が1,120億81百万円（前年比14.8%減）、苅田港が3,779億37百万円（前年比10.0%減）の順であった。

港別の特徴で見ると、門司港は「一般機械」、苅田港は「自動車」、戸畑港は「鉄鋼」、博多港は「一般機械」、福岡空港は「電気機器」、三池港は「船舶類」の輸入ウエイトが高い。

(4) 市場別輸出動向

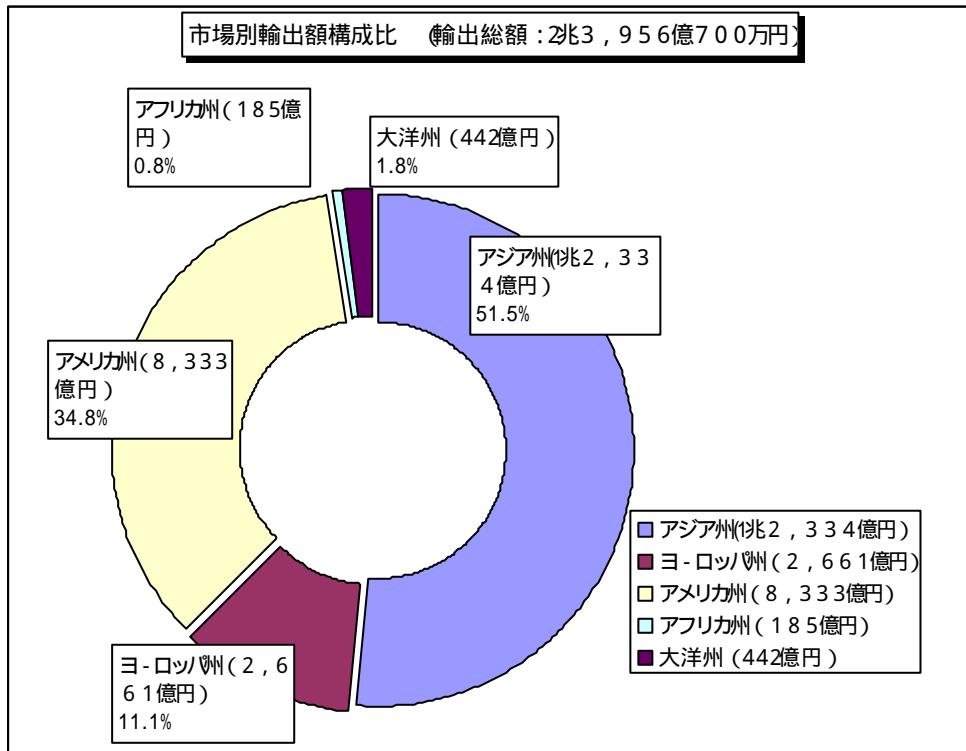
輸出先別でみると、アジア州への輸出が最も多く1兆2,334億円で、全体に占める割合は51.5%である。主な相手先は、大韓民国(2,416億円、同10.1%)、台湾(2,252億円、同9.4%)、シンガポール(1,410億円、同5.9%)、中華人民共和国(1,333億円、5.6%)、タイ(1,076億円、4.5%)の順となった。

ヨーロッパ州への輸出は2,661億円となり、全体に占める割合は11.4%となった。主な相手先はイギリス(566億円、同2.4%)、ドイツ(565億円、同2.4%)、フランス(230億円、同1.0%)、オランダ(248億円、同1.0%)の順となった。

アメリカ州への輸出は8,333億円となり、全体に占める割合は34.8%となった。主な相手先は、アメリカ(6,900億円、同28.8%)、パナマ(338億円、同1.4%)である。

アフリカ州への輸出は185億円となり、全体に占める割合は0.8%となった。主な相手先は、南アフリカ(79億円、同0.3%)、エジプト(41億05百万円、同0.1%)となっている。

大洋州への輸出は442億円となり、全体に占める割合は1.8%となった。主な相手先はオーストラリア(395億円、同1.7%)、ニュージーランド(37億00百万円、同0.1%)である。



2 福岡県の輸入概要

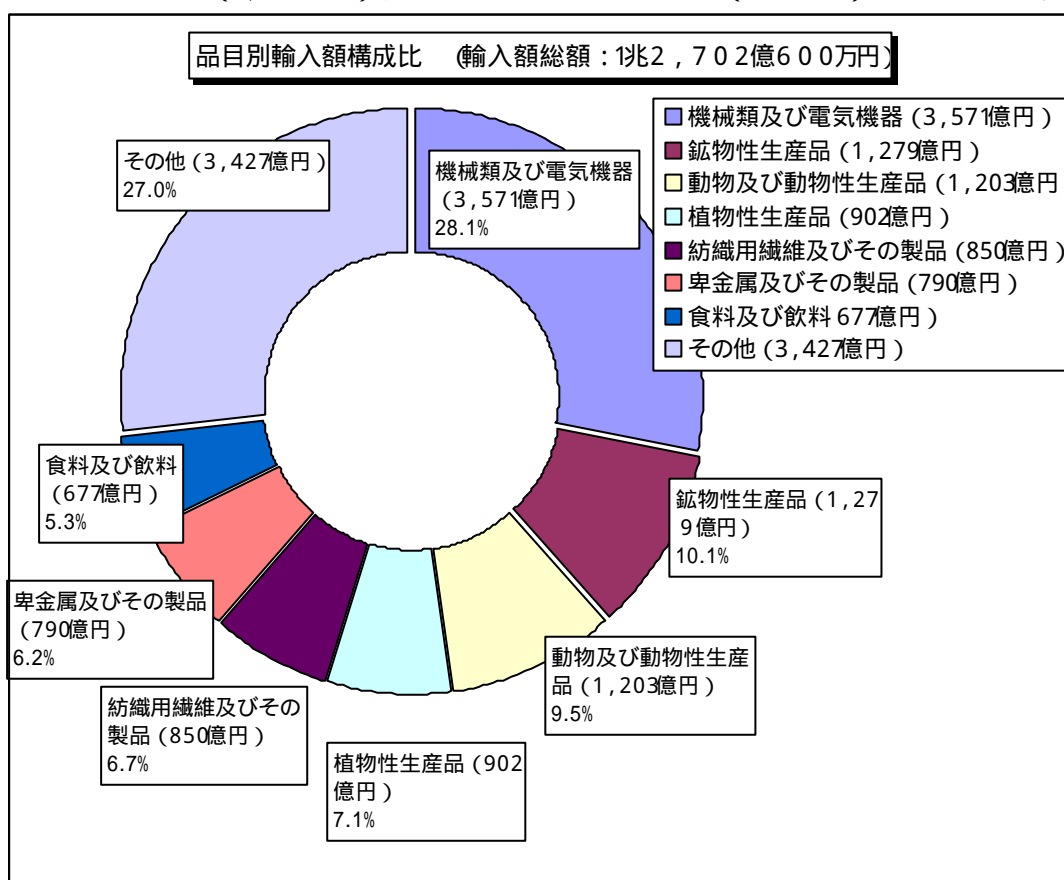
(1) 概況

門司及び長崎税関資料に基づき、平成12年の福岡県内の港（門司、苅田、戸畑、博多、三池）及び福岡空港における輸入状況をみると次のとおりである。

平成12年の本県の輸入総額は、1兆2,702億06百万円、前年比3.4%増で、2年連続のプラスとなった。

(2) 品目別輸入動向

品目別構成で見ると、「機械類及び電気機器」(3,571億円)が最も多く輸入全体の28.1%を占めている。次いで、「鉱物性生産品」が10.1%(1,279億円)、「動物及び動物性生産品」が9.5%(1,203億円)、「植物性生産品」が7.1%(902億円)と続いている。



(3) 港別輸入動向

港別の輸入額は、博多港が4,538億72百万円(前年比3.7%増)、門司港が4,007億29百万円(前年比6.1%増)、福岡空港が2,476億89百万円(前年比6.5%減)、戸畑港が1,175億11百万円(前年比22.9%増)、三池港が435億80百万円(前年比7.2%減)、苅田港が68億25百万円(前年比2.2%減)の順であった。

港別の特徴で見ると、門司港は「一般機械」、苅田港は「石炭」、戸畑港は「液化天然ガス」、博多港は「魚介類及び同調製品」、福岡空港は「半導体電子部品」、三池港は「はき物」の輸入ウエイトが高い。

(4) 市場別輸入動向

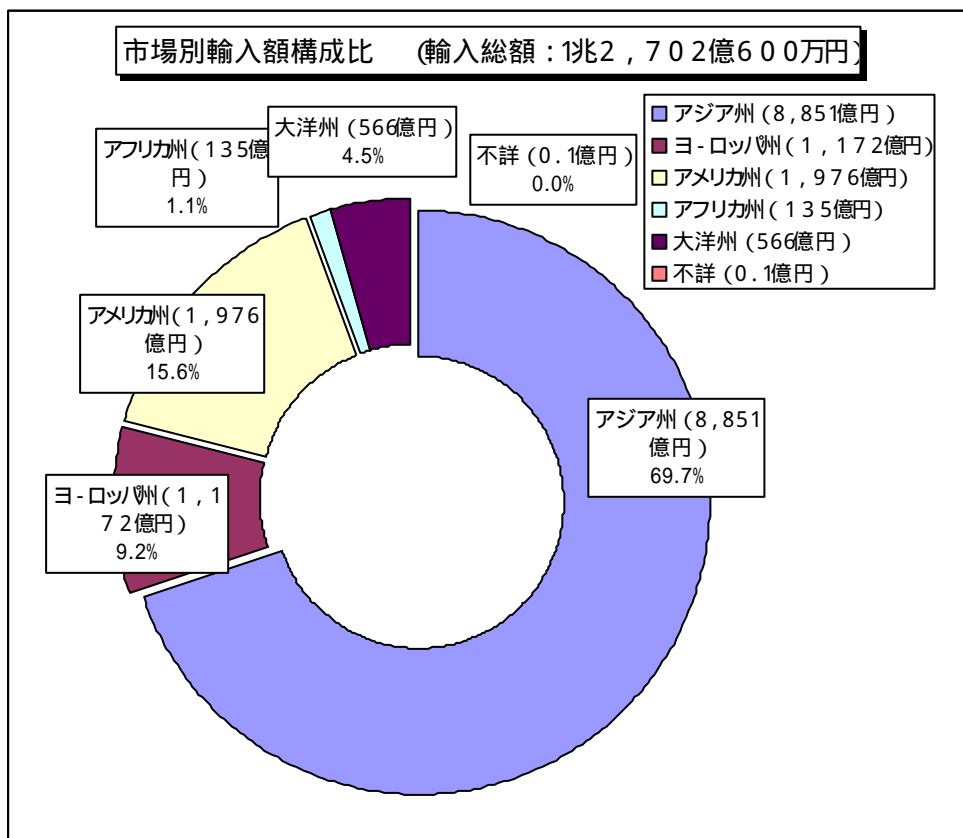
輸入先別で見ると、アジア州からの輸入が最も多く8,851億21百万円で、全体に占める割合は前年に比べ4.3ポイントアップの69.7%となった。主な相手先は、中華人民共和国(2,963億92百万円、同23.3%)、大韓民国(1,848億80百万円、同14.6%)、台湾(971億62百万円、同7.6%増)、タイ(705億60百万円、同5.6%)、マレーシア(591億58百万円、同4.7%)、フィリピン(323億02百万円、同2.5%増)の順となった。

ヨーロッパ州からの輸入は、1,172億65百万円となり、全体に占める割合は、9.2%となった。主な相手先は、ドイツ(170億09百万円、同1.3%)、スウェーデン(166億12百万円、同1.3%)、フランス(89億57百万円、同0.7%)、イタリア(77億23百万円、同0.6%)、ノルウェー(75億16百万円、同0.6%)、イギリス(72億62百万円、同0.6%)の順となった。

アメリカ州からの輸入は、1,976億06百万円となり、全体に占める割合は15.5%となった。主な相手先は、アメリカ(1,532億14百万円、同12.1%)、カナダ(253億29百万円、同2.0%)である。

アフリカ州からの輸入は、135億25百万円となり、全体に占める割合は1.0%となった。主な相手先は、南アフリカ(76億98百万円、同0.6%)、ジンバブエ(21億63百万円、同0.1%)となっている。

大洋州からの輸入は、566億74百万円となり、全体に占める割合は4.4%となった。主な相手先はオーストラリア501億91百万円、同4.0%減)、ニュージーランド(64億01百万円、同0.5%)となった。

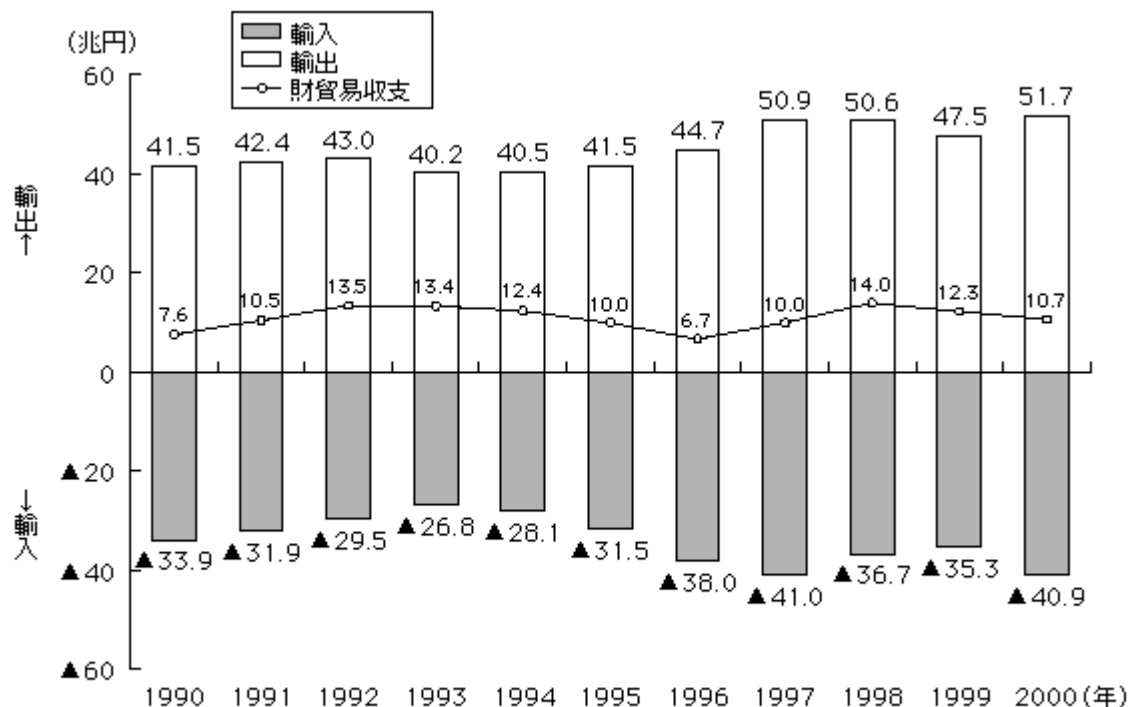


3 福岡県の貿易の位置付け

(1) 輸出入バランス

2000年の我が国の財貿易収支は、対前年比12.7%減の10兆7,158億円となった。貿易黒字は2年連続して減少した。輸出を金額ベースで見ると、対前年比8.6%の増加で51兆6,542億円となった。輸入を金額ベースで見ると、対前年比16.1%増の40兆9,384億円となった。

我が国の財貿易(円ベース)

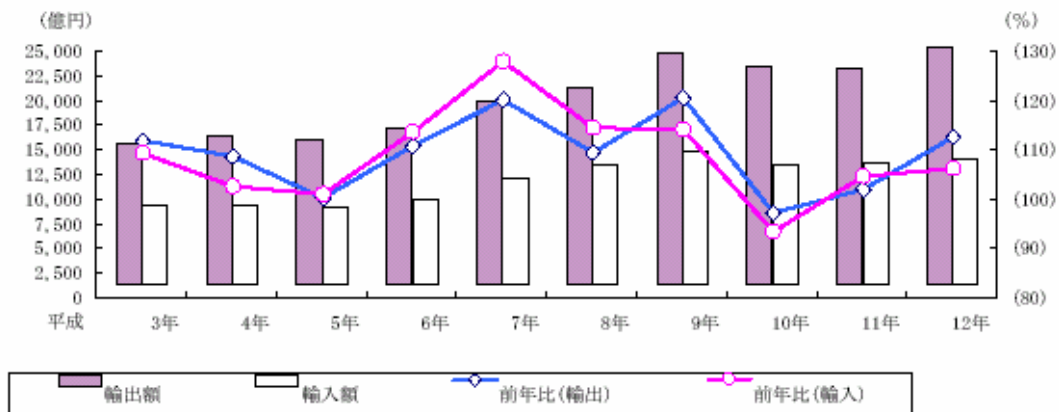


(資料) 財務省「貿易統計」

これに対し、福岡県の貿易額は、輸出額が2兆3,956億円(前年比9.8%増)となり3年ぶりのプラスに転じた。また輸入額は1兆2,702億円(同3.4%増)となり2年連続のプラスとなっている。輸出入のバランスは1兆1,254億円の出超で、大幅な出超基調で推移している。

福岡県貿易額推移

福岡県貿易額推移



(2) 輸出動向(品目別、地域別)

<日本>

我が国の品目別輸出額の対前年伸び率を見ると、増加している商品が多く、再輸出・特殊取扱品及び電気機械の伸びが特に大きい。一方、減少幅が大きな商品としては、食料品が挙げられる。

また、我が国の地域別輸出額の対前年伸び率は、対アジア地域への輸出が大幅に増加している一方、対アフリカ及び大洋州地域への輸出は、大きく減少した。

<福岡県>

これに対し、福岡県の品目別輸出額の対前年伸び率を見ると、電気機器、精密機器類の伸び率が高く、減少している商品は、繊維品、紙類等である。我が国に於いて対前年比率が減少している食料品については、福岡県では対前年比2.0%の増加である。

また、福岡県の地域別輸出額の対前年比伸び率は、我が国のそれと同じ傾向であり、アジア地域への輸出額が増加している。特に大韓民国、タイへの輸出が増えている。

(3) 輸入動向(品目別、地域別)

<日本>

我が国の品目別輸入額の対前年伸び率を見ると、多くの品目において前年に比べて輸入金額が増加しているが、原油及び粗油、石油精製品及び金属品の伸びが特に大きくなっている。逆に対前年比が大きくマイナスとなっているのは金(非貨幣用)である。

地域別輸入額の対前年伸び率を見ると、全体的に増加傾向にある。特に中東及びアジア地域からの輸入が大きく増加している。

< 福岡県 >

これに対し、福岡県の品目別輸入額の対前年伸び率を見ると、鉄鋼、鉱物性燃料が高い伸び率を示している。一方、食料品、原料品はやや減少傾向にある。

また、福岡県の地域別輸入額の対前年比伸び率は、輸出と同様、アジア地域からの輸入が増加し、国別では、インドネシア、大韓民国、台湾、中華人民共和国からの輸入が伸びている。一方、アメリカからの輸入は大きく減少している。

(「通商白書 2001」経済産業省編)

(「九州各県別の貿易 平成 1 2 年度分」門司税関、長崎税関、沖縄地区税関編)